

News Release

報道関係者各位

2005年3月14日

株式会社クレオ

インターネット会議システム 『FACE Conference 2004 シリーズ Second Edition』

リリースのお知らせ (URL <http://www.eface.jp>)

株式会社クレオ (本社：東京都港区、代表取締役社長：川畑種恭 以下クレオ) は、インターネット会議システム『FACE Conference2004 シリーズ Second Edition』を2005年3月15日よりパートナーを通じ販売を開始いたします。

「FACE Conference2004 シリーズ」は、パソコンに Web カメラとヘッドセットを接続するだけで、簡単に始めることができる本格的なインターネット会議システムです。2002年9月の発売開始以来、ファイル共有や Web 共有、ホワイトボード機能など充実の機能を搭載し、シンプルな操作・使い勝手のよさで200社以上のお客様から高い評価を得ております。

弊社では、ご導入いただいた多くのお客様の声を基に「FACE Conference」の更なる利便性の向上を狙って、追加機能の開発及び従来機能の改良を図ってまいりました。このたび、以下の新機能の追加・従来機能の改良を行います。

1. FACE アラート (呼出し機能)
会議召集をポップアップでお知らせします。
2. Push To Talk モード
Ctrl ボタンを押している間のみ発話できるモードを新たに追加しました。
3. 音声ウィザード機能
わずらわしかった音声設定をウィザード形式で簡単に設定できます。
4. 富士ゼロックス DocuWorks 対応
文書共有で富士ゼロックス DocuWorks 形式の文書を共有できます。
5. 自画像変更機能
動画を任意の画像データに置き換えることができ、ネットワーク帯域を節約します。
6. 英語クライアント Option
7. 音声再生の改良

FACE アラートで会議参加者を呼び出して会議をスムーズに開始することができ、周りに雑音が多い場所でも Push To Talk モードの使用で快適に使用することができます。また音声ウィザード機能により、わずらわしかった音声設定が簡単にできるようになり、よりユーザにやさしく使いやすくなりました。

現行の「FACE Conference2004 シリーズ」をお使いで保守サポートにご加入のお客様は無償で Second Edition にバージョンアップできます。今後もお客様の声を取り入れながら、誰にでも使いやすいユニバーサルな製品を目指していきます。

以上

株式会社クレオについて

株式会社クレオは、官公庁や企業向けにシステムを構築するシステムインテグレーション事業、企業の会計・人事給与業務ソリューションを提供する CBMS 事業、「筆まめ」などのコンシューマ向けパソコンパッケージソフトの開発・販売を行うプロダクトサービス事業を中心に事業展開しています。なかでもシステムインテグレーション事業は、アプリケーションシステム構築のノウハウと、バックエンド技術をベースにさまざまなソリューションサービスの提供を続けています。
(<http://www.creo.co.jp>)

FACE Conference は株式会社クレオを登録商標です。

記載されている製品名は各社の商標または登録商標です。